阿賀野川水系河川整備計画の目標設定と計画メニューの骨子案について

縦覧用

項目	整備計画目標	工事に関する事項	維持管理に関する事項
洪水による災害防止又は軽減	【洪水への対応】 阿賀野川の洪水氾濫から沿川地域を防護するため、計画規模の洪水への対応を長期的な目標としつつ、本計画では、戦後最大流量に水系の上下流バランスを考慮した規模の洪水を計画高水位（H.W.L.）以下で安全に流下させ、氾濫被害を防止します。	○河道の流下能力の向上 ○床固の改築 ○堤防の質的整備 ○水衝部対策	○河川の巡視・点検、調査 ○河道の維持管理 ○河川管理施設等の点検・維持管理 ○河川情報の収集・提供 ○管理の高度化
	【大規模地震等への対応】 近年、頻発している大規模地震に鑑み、地震による損傷・沈下等機能低下のおそれのある河川管理施設について必要な対策を実施し、地震後の壊滅的な浸水被害を防止します。	○大規模地震への対応 （河川管理施設の耐震対策）	○大規模地震、津波対応
	【内水被害への対応】 排水機場および排水ポンプ車等、既存施設の運用の効率化等を図るとともに、機能維持のための適切な維持管理を実施し床上浸水等の被害を軽減します。	○内水対策	
	【危機管理体制の強化】 河川の増水や堤防が決壊した場合の氾濫域の拡大が急激であることを踏まえて、ソフト面での水防管理体制の強化・充実を推進し、被害を最小化する「減災」を図ります。		○危機管理体制の整備・強化 ○氾濫予測情報の提供と洪水ハザードマップの見直し・普及の支援 ○水防活動への支援強化
流水の適正な利用及び正常な機能の維持	【流水の正常な機能の維持】 広域的かつ合理的な水利用の促進を図る等、関係機関と連携して必要な流量の確保に努めるとともに、渇水等の被害を最小限に抑えるため、情報提供、情報伝達体制を整備し、水利使用者相互間の水融通の円滑化等を関係機関及び水利使用者等と連携して推進します。	○流水の正常な機能の維持 ・情報提供、情報伝達体制の整備、水融通の円滑化等による渇水等被害の最小化	○流況等のモニタリング ○渇水時の対応（関係水利使用者との渇水調整）
	【良好な水質の維持】 継続的な水質モニタリング及び関係機関との連携により、良好な水質の維持に努めます。	○良好な水質の維持 ・水質悪化の防止や汚濁負荷削減の取り組み、啓蒙活動等による水質の維持保全	○水質調査の継続実施等 ○水質事故時の対応（関係水利使用者との渇水調整）
河川環境の整備と保全	【河川環境管理基本計画　～清流と大河に豊かさの源を求めて～】 「阿賀野川水系河川環境管理基本計画（平成元年策定）」に基づき、適切な河川空間の整備・管理を行います。		○河川空間の保全と利用 ○地域と連携した河川空間の適正な利活用
	【阿賀野川らしい河川環境の保全、及び良好な景観の保全・形成 】 阿賀野川と地域の人々との歴史的・文化的なつながりを踏まえ、滔々と流れる大河が織りなす河川景観や、多様な動植物生息・生育・繁殖する自然環境を次世代に引き継ぎます。このため、多自然川づくりの実施、魚類の移動の連続性を確保するよう検討します。また、阿賀野川の特徴的な景観に配慮した整備を進めるとともに、景観の保全と活用を図ります。	○工事による環境への影響の軽減等 ○魚類の移動の連続性の確保 ○砂礫河原への配慮 ○景観に配慮した河川整備	○不法占用・不法行為等の防止 ○環境モニタリング ○外来種対策 ○環境教育の支援 ○河川愛護の啓発 ○樹木伐採木の無償提供 ○住民参加の河川管理
	【人と川とのふれあいの場の整備、水上ネットワークに関する整備 】 流域住民の生活基盤や歴史・文化・風土を形成してきた阿賀野川の恵みを生かしつつ、自然環境と調和を図りながら、自然とのふれあい、環境学習ができる場として、人と川とのふれあいの場の整備を図ります。 また、かつて舟運で栄えた阿賀野川の歴史を踏まえ、関係自治体等と連携し、水上ネットワークに関する検討を進めます。	○人と川とのふれあいの場の整備 ○水上ネットワークに関する整備	

河川の維持管理　【既存ストックの有効活用を図るための、効率的・効果的な維持管理の実施 】

河川管理施設が本来の機能を発揮できるよう、施設の現状を的確に把握するとともに、状況に応じた改善を行い、「治水」、「利水」、「環境」の目的を達成するために必要な維持管理水準を持続させるよう努めます。

サイクル型維持管理の実施